

敷地整序型区画整理事業を活用した歩行者空間の創出と大街区化による商業・業務機能の強化

東京都台東区役所都市づくり部 都市計画課 伴 宣久

キーワード

① 敷地整序型 土地区画整理事業	② 中心市街地活性化	③ 立体都市計画通路
---------------------	------------	------------

JR 御徒町駅を中心とする区域は、上野駅、秋葉原駅の間となる区域であり、JR はもとより東京メトロ、都営地下鉄等の鉄道結節点であり、魅力ある拠点形成を期待される地域である。昭和50年代には、地区内大規模地権者を中心に市街地準備組合を組織し、道路を付け替えて敷地を統合した上での開発が検討されていた。その後、景気の低迷等で、計画は頓挫したが、平成3年には、その計画をベースにした地区計画が都市計画決定された。その後、諸所の事情で、開発は低迷していたが、平成18年より、民間主導により始まった敷地整序型区画整理により、平成24年11月には、待望の南口歩行者駅前広場が完成する。区は広場整備の地元協議の過程で、整備計画の無い部分に新たな北口駅前広場の整備を中心とした、新たな地区計画を策定した。本報告は、この過程を紹介しながら、地域の商業、業務機能の更新が進んでいる事例を報告するものである。